

活動報告

平成27年度 厚生連薬剤師会学術報告

豊栄病院、薬剤部；薬剤師

とやま よしとよ
外山 芳豊

新潟県厚生連薬剤師会は2015年現在127名が在籍しております。

当薬剤師会は春期・秋期研修会の定期開催しています。また日々研鑽を積み重ね、各種学会・研修会等へ積極的に参加し、専門薬剤師、認定薬剤師の習得、チーム医療への参画を行っています。また近年、社会構造の変化に伴い、地域医療との連携も重要な役割となっています。

また平成26年の薬剤師法改正や薬事法改正などもあり、医療安全に関して薬剤師一人一人の意識が高まったのではないかと考えられます。

平成27年度の発表、研修会の学術活動内容は以下のとおりです。

(1) 日本農村医学会新潟地方会第65回例会

時 平成27年4月25日

所 朱鷺メッセ；新潟コンベンションセンター

演題名：①チアプリド塩酸塩によると思われる悪性症候群の1症例

上越総合病院 村上 幸恵

②長岡中央総合病院での外来におけるオピオイド鎮痛剤初回導入患者に対する窓口指導
～指導書の作成と運用～

長岡中央総合病院 五十嵐夕香里

(2) 第51回厚生連薬剤師会総会・分科会並びに特別講演

時 平成27年5月23日

所 バストラル長岡

分科会（シンポジウム）

テーマ：薬剤師法改正後の服薬指導の取り組みについて

①「薬学的知見に基づいた指導のこれから～法改正に伴う業務改善をどうするか～」

長岡中央総合病院 片桐 啓太

②「当院における薬剤管理指導業務～薬学的知見に基づく指導のすすめ方について～」

上越総合病院 金子 志帆

③「薬学的知見に基づいた指導に対する現状と報告」

水原郷病院 新井 貴子

特別講演Ⅰ

「小児の呼吸器感染症における経口抗菌剤による治療について」

新潟大学医師学総合病院 小児科 助教 大石 智洋 先生

特別講演Ⅱ

「高齢者肺炎をめぐる話題 ―誤嚥性肺炎を中心に―」

新潟県立坂町病院 内科 医長 小泉 健 先生

(3) 第1回日本医薬品安全性学会学術大会

時 平成27年7月4日～5日

所 福山大学宮地茂記念館

演題名：「抗悪性腫瘍によると思われる流涙増加・涙道閉塞の1例」

佐渡総合病院 霍間 尚樹

(4) 平成27年度前期新任薬剤師教育研修会

時 平成27年7月25日

所 長岡中央総合病院

テーマ発表 「自分が取組んでいる業務または研究」について（研修1年目の薬剤師による発表）

講義・実習 講師：栃尾郷診療所 丸山 歩

「糖尿病ケアに必要な機器を深く知ろう！～自己血糖測定、インスリン注射手技他、セルフケアの実際～」

「コントロール目標値を意識したセルフケアのために～自己血糖測定器・簡易血圧計・活動量計の利用のすすめ～」

「自己血糖測定器・簡易血圧計の比較および活動量計の活かし方～症例検討～」

「インスリン自己注射の注意点およびトラブルデバイスの見分け方」

「糖尿病患者さんに向き合うために～糖尿病療養指導士の資格取得方法～」

(5) 日本病院薬剤師会関東ブロック第45回学術大会

時 平成27年8月1日～2日

所 つくば国際会議場

演題名：「医療従事者の知識共有化を目指して～緩和ケア基礎知識についてのアンケート調査の実施結果～」

佐渡総合病院 本間多津子

(6) 平成27年度副薬剤長・主任会議

時：平成27年9月5日

所：長岡中央総合病院

議題

平成28年度厚生連薬剤師会総会の分科会について

業務内容および人員問題について

他施設への質問・協議事項について

厚生連薬剤師会への提言・質問事項について

(7) 第4回日本くすりと糖尿病学会学術集会

時 平成27年9月26日～27日

所 朱鷺メッセ；新潟コンベンションセンター

演題名：①「介護老人保健施設入居者への SickDay 時の介入を考える～高血糖で搬入された1例より～」

栃尾郷診療所 丸山 歩

②「安定した血糖コントロールを目指して持続性エキセナチド製剤を使用した1例」

長岡中央総合病院 石塚ほから

③「1型糖尿病患者でのインスリングラルギンからデグルデクに変更した際の有用性の検討」

長岡中央総合病院 安達麻佑子

(8) 第9回日本緩和医療薬学会年会

時 平成27年10月2日～4日

所 パシフィコ横浜・会議センター

演題名：「オピオイド使用患者における疼痛評価の実態」

柏崎総合医療センター 金子 睦志

(9) 第64回日本農村医学会学術総会

時 平成27年10月22日～23日

所 秋田県民会館・秋田キャッスルホテル

演題名：「当院職員におけるサージカルマスク装着時の裏表判別方法と正誤率」

佐渡総合病院 霍間 尚樹

(10) 平成27年度厚生連薬剤師会秋季研修会

時 平成27年11月14日

所 新潟東映ホテル

演題名：①「胸膜癒着術におけるユニタルク使用患者の症例報告」

糸魚川総合病院 黒山 尚仁

②「研修医と看護師に対する「こどもの薬の味体験型研修会」の紹介と評価」

上越総合病院 森川 貴之

③「外来患者への医薬品情報提供及び服薬指導業務の重要性～処方歴確認からみえてきたもの～」

けいなん総合病院 石川 光教

④「血液透析患者におけるガレノキサシンの血清中濃度測定と蛋白結合率の検討」

佐渡総合病院 藪間 尚樹

⑤「当日予約患者数を用いた処方件数予測精度と処方件数に影響を及ぼす因子の検討」

佐渡総合病院 樋口 利晴

⑥「入院注射オーダリング導入前後の運用と安全面の変化についての報告」

長岡中央総合病院 山岸 綾子

⑦「TOSHO システム更新時、追加した機能について」

長岡中央総合病院 徳原 弘道

⑧「副薬剤長・主任会議報告」

長岡中央総合病院 本間 健道

特別講演Ⅰ

「抑うつ病の本質を理解する Globl Standard と日本人を比較して」

医療法人崇徳会 田宮病院精神科医局長 山家 卓也 先生

特別講演Ⅱ

「心不全の病態と治療」

長岡赤十字病院循環器内科副部長 保屋野 真 先生

(11) 第4回中越循環器病棟薬剤師研究会

時 平成27年11月17日

所 ホテルニューオータニ長岡

演題名：「急性心筋梗塞患者における服薬指導の一例」

長岡中央総合病院 丸山 和哉

(12) 第46回全国厚生連病院薬剤師会学術総会

時 平成27年11月20日

所 ヨコハマグランドインターコンチネンタル

演題名：「当院職員におけるサージカルマスク装着時の表裏判別方法の正誤率」

佐渡総合病院 帆苺 千晶

(13) 平成27年度後期新任薬剤師教育研修会（予定）

時 平成27年12月12日

所 コープシティ花園 ガレソンホール

テーマ発表 「自分が取組んでいる業務または研究」について（研修2年目の薬剤師による発表）

前期研修会報告および意見交換

講義・実習 大塚製薬株式会社

「消毒薬について」

「輸液の処方設計」

「フィジカル実習」

(2015/11/27受付)